

IT パスポート模擬試験・CBT 版のご案内

価格：1 パターン 2,700 円（本体 2,500+税）

小問 100 問（中間なし） 2016 年 3 月 1 日提供開始

※3 パターンご用意しています。

※各パターンにつき、ご指定いただいた日から 1 ヶ月間で 2 回の受験が可能です。

1. 繰り返しの学習で慣れることが大切

パソコン上でスムーズに問題を解いていくためには、操作方法から始まり、問題を解いていくコツを身につけるなど、慣れることが大切です。

3 パターンの模擬試験を、各パターン 2 回まで実施することにより、本試験と同じようなスタイルを繰り返し実践でき、自信をもって試験に臨むことができます。

残り時間：118分 02秒

ITパスポート試験 表計算仕様 WeNet

問2 ストラテジ系

業界内の企業の地位をリーダー、チャレンジャー、フォロワー、ニッチャの四つに分類するとき、チャレンジャーの取る競争戦略として、適切なものはどれか。

ア 大手の企業が参入しにくい市場の隙間を狙い、その特定の市場での専門性に特化した特定化戦略
イ トップシェアの追撃・奪取を目標として、トップシェアをもつ企業との差別化戦略
ウ トップシェアをもつ企業の製品を参考・模倣して、市場チャンスに素早く対応し、競合他社からの報復を招かないように注意しつつ、コストダウンによる低価格で勝負する模倣戦略
エ 利用者拡大や使用頻度増加のための投資を行って市場規模全体の拡大を図り、全市場をカバーした最大シェアを確保するための全方位戦略

解答欄 ア イ ウ エ この問題を後で見直す

解答状況	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
	ウ	イ											

前の問へ 次の問へ 試験終了

Aパターン 2回目

2. 充実した分析資料と解説で本試験前の総チェックが可能

合否結果、問別の採点結果、分野・分類別分析結果は試験終了後すぐに表示されますので、得意不得意分野の把握によって、強化すべき分野が明白になり、効率的かつ効果的な対策が可能になります。

また、問別の解説では、問題ごとの正答および正答以外の用語の解説を確認できるため、試験実施後のイメージが残っている間に復習が可能です。弱点を確実に克服でき、さらに応用力も身につけることができます。

<合否結果>

合格判定		合格
総合スコア	640点 / 1,000点	(合格基準点600点以上)
ストラテジ系	485点 / 1,000点	(合格基準点300点以上)
マネジメント系	800点 / 1,000点	(合格基準点300点以上)
テクノロジー系	675点 / 1,000点	(合格基準点300点以上)

<問別採点結果>

問	テーマ	中分類	入力・案	正答	判定	解説
1	クラウドソフト	技術	エ	フ	×	解説
2	チャレンジャ	経営戦略マネジメント	イ	イ	○	解説
3	ISBNコード	技術	エ	イ	×	解説
4	コピー数 (リス又は外部)	企業活動	ア	フ	×	解説
5	CSR	企業活動	ウ	ア	×	解説
6	ABC分析	企業活動	イ	エ	×	解説
7	ナレッジマネジメント	経営戦略マネジメント	エ	イ	×	解説
8	JANコード	技術	イ	イ	○	解説
9	品質管理	企業活動	エ	イ	×	解説
10	プロダクトライフサイクル	経営戦略マネジメント	イ	イ	○	解説
11	経営判断	企業活動	イ	イ	○	解説
12	ディスクジョー	企業活動	ア	ア	○	解説

<分野・分類別分析結果>

分野	中分類	出題数	正答数	正答率	評価
ストラテジ系	1 企業活動	11	5	45.5%	C
	2 技術	5	2	40.0%	C
	3 経営戦略マネジメント	8	4	50.0%	C
	4 経営戦略マネジメント	1	1	100.0%	A
	5 システムインテグレーション	1	0	0.0%	D
	6 システム開発	7	4	57.1%	C
	7 システム企業	2	1	50.0%	C
マネジメント系	8 システム開発技術	11	10	90.9%	A
	9 ソフトウェア開発管理技術	2	0	0.0%	D
	10 プロジェクトマネジメント	3	2	66.7%	B
	11 ビジネスマネジメント	6	5	83.3%	A
	12 システム開発	3	3	100.0%	A
テクノロジー系	13 経営戦略	4	1	25.0%	D
	14 アプリケーション開発環境	4	4	100.0%	A
	15 コンピュータ構成要素	2	0	0.0%	D
	16 システム開発技術	3	1	33.3%	C
	17 ソフトウェア	4	3	75.0%	B
	18 ハードウェア	0	-	-	-
	19 ビューワー/インテグレーション	2	2	100.0%	A
	20 ネットワーク	1	1	100.0%	A
	21 ネットワーク	5	5	100.0%	A
	22 ネットワーク	7	5	71.4%	B
	23 ネットワーク	9	5	55.6%	B
合計		100	64	64.0%	B

<解説>

問15 【解説】

企業はビジネス戦略などを、戦略、顧客、内部ビジネスプロセス（業務プロセス）、学習と成長の四つの視点で、自業競争のレベルまで落とし込み、具体的な目標やアクションプランを立て、進捗状況や達成率などの評価を行う業績評価手法はどれか。

ア PPM イ SWOT分析 ウ バランススコアカード エ ベンチマーキング

問15 【解答】 ウ

【解説】

ア PPM (Product Portfolio Management) は、事業や製品を、市場占有率と市場成長率の二つの観点から、問題児、花形、負けた、金のなる木に分類する。

イ SWOT (Strengths Weaknesses Opportunities Threats) 分析は、組織の内部環境がもつ強みと弱み、組織の外部環境にまつ機会と脅威を分析して評価を行う。

エ ベンチマーキングは、経営目標を設定するとき、ベストプラクティスを探し出すために、最優のライバル会社と自社とのギャップを分析して、製品、サービス、業務プロセスを比較・実証的に測定する。

3. 指導者用の分析ツールのご活用

クラス単位の試験結果を様々な角度から分析した結果を閲覧することができます。

(1) 問別正答率

パターン別実施回数（1回目、2回目）ごとに、問1～問100の正答率、解答（ア～エ）の選択率などが閲覧できます。どの解答で誤ったかを含めて、どの問題を解説するかを決定するときに用います。

(2) 中分類弱点分析結果

パターン別実施回数（1回目、2回目）ごとに、23個の中分類別の平均正答率と評価、各評価の人数構成比率などが閲覧できます。クラス全体としての弱点分野（中分類）、個人別弱点分野を把握することにより、どの分野を補強するかを決定するときに用います。

(3) 総合・分野別判定結果

総合評価点が600以上、かつ、分野別評価点がすべて300以上で合格です。パターンごとに総合および分野別の判定結果が閲覧できます。合格まであと1歩の学習者について、総合評価点を伸ばすのか、各分野別評価点を伸ばすのかという戦略を練るときに用います。

(4) 総合評価履歴

パターン別実施回数（1回目、2回目）ごとの総合評価点の履歴が閲覧できます。最大三つのパターンで模擬試験の実施回数を重ねるごとに、学習者の総合評価点が伸びているかを把握するときに用います。

<問別正答率>

<中分類弱点分析結果>

<総合・分野別判定結果>

<総合評価履歴>

<お問い合わせ先>

ページを開けば未来が拓ける

TEL：025-246-9172（営業直通）



E-mail：kyouiku@wenet-inc.com